

## 2018 年度東北支部活動報告

平成 30 年 10 月 17, 18 日, 河南中医薬大学の 60 周年記念式典に参加してきました。

錚々たる著名な先生方と光栄にも肩を並べさせていただき, 「エピジェネティクス～中医学の新たな可能性」と題し, 講演してきました。

ここ河南省の人口はなんと一億人! そのなかのここ鄭州市も 1000 万人に迫る東京規模の大都市。新都心計画がどんどん進められている大都会です。そのなかにある河南中医薬大学。河南省の漢方薬教育, 医療, 科学研究の主要機関で, さまざまな研究所もおかれ, なかでもエイズ, 呼吸器疾患治療の漢方薬処方に関する研究では国内最先端レベルで, 学生数は 20,000 人。

環境が遺伝子のふるまいを変える～そのレシピが 3000 年の歴史をもつ中医学のなかにこそあることを外国人である僕が, 張仲景を生んだ中医学の本場で多くの方に伝えることができ, 感激でした。講演後は, たくさんの方からありがたいご感想をいただきました。海外からも多くのゲストが参加した関係で, 今回は二カ国語同時通訳～急遽英語での講演となりました。



仲景学术论坛			
时 间: 10月18日 10:30-12:00; 15:00-17:30			
地 点: 图书馆第一报告厅			
时 间	主 讲 人	内 容	主 持 人
10:30-11:00	唐祖宣 国医大师	“温阳法”在临床中的应用体会	李建生 教 授
11:00-11:30	陈 明 教授	读经方用经方 讲经验	
11:30-12:00	刘力红 教授	伤寒论六经的辨证原则	
午 休 时 间			
15:00-15:30	张 磊 国医大师	运用经方治疗疾病案例浅谈	杨景锋 教 授
15:30-16:00	中山 孔壹 教授	表观遗传学——中医的最新可能性	
16:00-16:30	钱超尘 教授	伤寒论版本流传简史	
16:30-17:00	麻仲学 教授	在美国运用经方鳖甲煎丸思路抗癌临床体会	
17:00-17:30	梁华龙 教授	伤寒论点滴	





そして翌日は

- ・ロシアチームと合流して第三病院で最新の鍼灸治療見学
- ・理事を務める世界中医薬学会連合会のエイズ専門会議に参加
- ・おいしい昼食をいただき第二病院へ移動
- ・中医学の未来像，自然療法医療センターを見学
- ・200人を超える看護部学生さんを前に合同講演会

最新のエイズ関連情報・治療法について，予防と治療が一体となった形が今や世界の主流となっていること，また，中西医結合による取り組みの最新情報についても興味あるテーマをさまざまな角度から見ることができました。

自然療法医療センターでは，中医学の未来像（予防と治療合体）を見学，未病（亜健康）に対する中国の本気モードの取り組みが伝わってきました。

健常者の，より健康になりたいという願いの答えが確実にそこにありました。

看護部学生さんが夜7時過ぎになんと200名以上も集まってきて，そこでの講演会はキラキラと光る熱い眼差しに溢れていて，こちらもやる気になりました。

急遽僕も話をすることになり、「どうしたら人は幸せになれるのか!？」について、長年研究してきた答えがここ中国にあったと投げかけると、それはそれは「知りたい!」という熱い思いが返ってきました。若者の真剣な眼差しを久しぶりに見て、嬉しかったです。

ありがたいご縁のもと、素晴らしい貴重な体験をさせていただきました。

今回さまざまな国の人たちとの交流が叶い、自分たちがおかれている立場が本当に稀有であることもつくづく実感しました。



同時に、人が一生のうちで到達できること、その可能性もしっかりと見えた気がしました。今回、中国での環境から僕の細胞に「刻印」されたシグナル～早速変換したくてたまりません。次の役目を受け取れるよう、引き続き日々の臨床・研究でしっかりと準備していきたいと思います。本を読んだり、映像を見たり、話を聞いたりしただけではわからない世界。この目で見たこと、この肌でキャッチしたこと、この心で感じたことをしっかりと携え、伝え、生かしていきたいと思います。



また、このたび河南中医薬大学仲景中医薬研究院客員教授という、ありがたい任命書を賜りました。亜健康（未病）へのアプローチの研究に多くの入り口から国家を挙げて注力しているこの中国の大きな可能性と取り組みに日本人の一人として真摯にかかわり、アジア全体の健康未来の発展のために頑張っていきたいと心新たにしています。

すべてに感謝。

(中山孔壹・記)